

# 祝卒業!!

# 瓊浦

第3号

平成29年3月1日発行

瓊浦高等学校

住所 長崎市伊良林  
2丁目13番4号

電話 826-1261(代)

FAX 820-5245



今年もこの日がやってきた  
第六十八回卒業証書授与式

いままで共に過ごした三年間  
いろいろなことがあった  
一緒に笑った、一緒に泣いた  
そんな日々も今日で終わり

けれども卒業はゴールではない  
新たな旅路へのスタート

共に祝おう 旅立ちの第一歩を  
共に懐かしもう 瓊浦高校での日々を

卒業しても色褪せることのない  
瓊浦での三年間は 君たちの中に息づいている



今日から始まる物語  
泣かないし、悔やまない  
それは本当の強さじゃなくて  
どんな時も、ただ何度でも  
夢を見る強さを

今日から始まる物語  
泣かないし、悔やまない  
それは本当の強さじゃなくて  
どんな時も、ただ何度でも  
夢を見る強さを

今日から始まる物語  
泣かないし、悔やまない  
それは本当の強さじゃなくて  
どんな時も、ただ何度でも  
夢を見る強さを

今日から始まる物語  
泣かないし、悔やまない  
それは本当の強さじゃなくて  
どんな時も、ただ何度でも  
夢を見る強さを

## たまのうら

先日、ある雑誌の特集で「歴代ボクサー最強は誰だ」という企画があった。現役の世界ランカーや記者たちにアンケートを取り、文字どおり「最強」を決めるというボクシングファンにとってはとても興味深い企画である。

見事に輝いたのはかの有名なマイク・タイソン氏だったのだが、今回採り上げたのは彼ではない。フィリピン人の英雄と言われるマニー・パッキャオ氏についてだ。

史上二人目の六階級制覇を成し遂げ、いまだ現役としてリングに上がり続ける彼の強さは言うまでも無いが、彼はただ強いだけではない。自国フィリピンでももちろん、世界中におけるその人気ぶりが他を圧倒していることでも有名だ。それは彼のフアイトスタイルが関係しているのだが、「常に挑戦者」。彼を語る上でこのキーワードを忘れてはならない。

彼の評価は六階級制覇という数字だけでは表せない。世界王者の中でも超一流の選手を幾多の階級にわたって撃破（その多くは圧勝）してきた点にある。パッキャオは、ノンタイトル戦で当時のスター選手であるマルコ・アントニオ・バレラに完勝してスタadiumののし上がったことをきっかけに、世界タイトルを獲得するのことに各階級の最強の選手と戦うようになった。

当然ながら試合前の予想では、パッキャオは不利と言われることが多かった。本来の階級よりも上の、しかも世界的に名の知れた王者たちが相手。常に「今回ばかりは無理だろ」というファンの声を良い意味で裏切つての勝利。その連続に、ボクシングファンは熱狂し、次はどんな挑戦者をしてくれるんだろうとワクワクした。

パッキャオのプロでの戦績は六十七戦五十九勝六敗二分。他の名の知れた世界王者と比べると負け数が多いことでも知られる。しかし、彼を称える言葉に「負け数は勇気の証明」というものがある。常に自分よりも強い相手に挑戦する。決して逃げない。だからこそファンは彼に魅了され、彼を最強だと称えるのである。

負けることを恐れない。それは非常に難しい。けれども、負けるリスクを避け、逃げ続ける人生はつまらない。失敗を恐れるな。大事なものは、失敗しても次に立ち向かう勇気だ。これから先、社会に出て行く生徒の皆さんは、これまで以上に多くの判断を迫られるときがある。そんなとき、常に前向きに挑戦する勇気を持って欲しい。すぐに諦めず、立ち向かう勇気を持って欲しい。そうすれば、君たちの未来は必ずや明るいものになることだろう。

（この欄は上記の文章の続きまたは関連するコメントが記載されている可能性があります。本文の読み取りに支障をきたさないよう、上記の文章を優先的に整理しました。）

# 先生方からあなたへの贈る言葉

message to graduating students



第3学年主任  
山口 敦 先生

## 「知識から経験へ」

第六十八回卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんはこれまででは保護者に守られ、先生に守られ、学校という安全なカゴの中で、生徒という肩書きによって文字どおり「加護」を受けて来ました。しかし、これから一人の大人として責任と自覚を持って行動することが求められます。

時には「辛抱」や、「忍耐」が必要な時もあるでしょう。しかしながら、皆さんが夢を持ち、その夢に向かって、情熱を持って行動すれば、必ず道が開けます。努力も、忍耐も、結果としては「すばらしい経験」となっており、皆さんの中に蓄積されていくことで、人が物事を判断する時、知識だけではなく「経験」が非常に重要な役割を果たします。これまでの学校生活で学んで来たことが「知識」だとすると、これから先の人生で得られる「経験」が皆さんを格段に豊かな人間にしてくれます。

どうか皆さん、恐れず、ひるまず、前向きにチャレンジしてください。どんな経験も必ず皆さんを育ててくれます。

最後に、はなむけのことばとして、ある小説の一節を送ります。

小さき者よ。

不幸な、そして同時に幸福なお前たちの父と母との祝福を胸にしめて、人の世の旅に登れ。

前途は遠い。そして暗い。

しかし、恐れてはならぬ。

恐れない者の前に道は開ける。

行け。勇んで。小さき者よ。

有島武郎『小さき者へ』より



龍馬コース普通科A組担任  
小野 友樹 先生

## 『教師という仕事を好きになりました。』

君たちに出会って、教師という仕事を好きになりました。二十代の頃、教師の仕事は生徒に教えることだと思っていました。君たちと出会って、教えること以上に君たちから多くのことを教えてもらった気がします。共に成長することができた三年間。まさに『共育』です。

人生はかけ算です。ゼロ人間では、成長することはできません。可能性(CHANCE)がある限り挑戦(CHALLENGE)し、現状に満足せず、自分を変えて(CHANG E)下さい。C×C×C∞。どの教科書にも載っていない美しい公式です。

ご活躍を期待しています。瓊浦高等学校第六十八回卒業生として、胸を張って人生を歩んで下さい。ありがとうございます。そして、さようなら。



龍馬コース普通科  
機械科A組副担任  
田島 暢哉 先生

卒業おめでとう！これからの人生の主役を演じるのは君たち自身です。自分の目指す人生を自分自身で描いた脚本に沿って、自信を持って生き抜いてください。時として、脚本通りには進まないこともあると思います。そんな時は立ち止まり、再度その脚本を練り直す必要があるかもしれません。でもそれを考えるのも君たち自身です。苦勞しながら主役を演じる中に、人生の楽しみが見つかると思います。皆さんの人生が輝かんことを願っています。



龍馬コース普通科B組担任  
合馬 数善 先生

## 皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業後は、皆さん一人一人がそれぞれ別々の道を歩むこととなります。その道は険しく、これまでと同様にいかなることも多いでしょう。時には躓いたり、諦めかけたりすることもあるでしょう。

けれども、前に進むことを止めないで下さい。進んだ先には、それ相応の楽しさや喜びが待っています。人生は一度きり、やり直しができません。たった一度の自分だけの人生です。思う存分楽しんで、苦しんで、楽しんで、皆さん一人一人の人生が有為なものになることを願っています。



普通科C組担任  
玉島健太郎 先生

「努力は実る」という看板を見たことがある人はいるでしょうか。

私は高校三年生の時に受験を失敗し、一年間北九州予備校に通いました。努力は実るといふのは、その予備校の標語です。私は不安の中通ったその予備校で、初日に講師の先生から「努力は実らない」と言われたことを鮮明に覚えています。その先生はこうも続けます。「努力は必ずしも実るとは限らないが、成功した人はすべからず努力している」

竹原ピストルという歌手の方がいます。その方は「例えば芸能人やスポーツ選手やらが特別あからさまなだけで必死じゃない大人なんていないのさ」と歌います。

私は必死さを出すのが苦手なので、そうは見えなかったかも知れませんが、皆さんが有為な社会人となるよう、必死に戦ってきまされた。進学する人も、就職する人も、それぞれ大変なことがあると思います。大人は、社会は高校までのように甘くありませんが、



普通科C組副担任  
御手洗喜朗 先生

んばって下さい。竹原さんはこうも歌います。「よー、その若いの、俺の言うことを聞いてくれ。俺を含め誰の言うことも聞くなよ。」卒業、おめでとう。

皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、皆さんの頭の中では、この三年間の思い出が錯綜していることでしょう。

今まで育ててくれた保護者の皆様に感謝をしてください。そして、友だちと育んできた友情にも感謝をしてください。来月より進学・就職と別の道に進みますが、それぞれの道では、大きな障壁が待ち受けていることでしょう。その時は君たちの若さと情熱で乗り越えてください。今の君たちになら必ず出来るはずです。幸運あれ。



普通科D組担任  
山川 貴広 先生

卒業生、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

君たちと共に歩んだ二年間は、あつという間の一時でした。修学旅行・体育祭・瓊浦祭、そして強歩大会。「勝つべきところはココだ!」と、イベントに全力を注いだ普通科諸君、互いに刺激し合いながら成長していった日々を、ありがとうございます。授業や学校行事を通じて一緒に楽しく汗をかいた情報ビジネス科・機械科諸君、とても思い出深い日々を、ありがとうございます。瓊浦高校の一卒業生として、後輩へ言葉を贈ります。

『道に迷うことこそ、道を知ることだ。』

知識は試行錯誤を繰り返して、はじめて身につくもの。今後の君たちと会うことを楽しみに待っています。

# 卒業おめでとう!!



普通科D組副担任  
梅木 忠 先生

卒業おめでとう。D組の皆さんとはわずかに一年間だけでしたが、記憶に残るクラスになりました。

社会に出て行く皆さんに、高杉晋作の句「おもしろきこともなき世をおもしろく」をおくります。「社会には面白くないこと、つらいこともありますが、人に期待していても変えることはできない、自分が変わって面白い社会にするしかない」と解釈しています。



情報ビジネス科A組副担任  
足立 陽平 先生

ご卒業、おめでとうございます。皆さんと過ごした三年間はとても濃く、本当に楽しい日々でした。

社会に出ると、恐らく今まで以上に辛いことや理不尽なことがたくさんあるかもしれません。しかし、止まない雨はないです。雨の後に虹が出ることもあります。出ないかもしれない。でも空に架かった虹を見逃さないために、下を向かず、前を向いて、空を見上げていてください。

健康には十分気をつけて、これからも頑張ってください!



情報ビジネス科A組副担任  
菊川 仁美 先生

ご卒業おめでとうございます。復帰してから、半年間だけでしたが私自身とても楽しく、濃い時間を過ごすことができました。これから皆さんが社会に出るにあたってお願いしたいことが一つだけあります。それ



龍馬コース機械科A組副担任  
大坪 雅史 先生

はたくさんの人との出会いを大切にしたいという事です。どのような出会いも全て自分のプラスになります。自分にとって苦しい状況であっても相手を思いやる事ができれば必ず自分に返ってくるはずですよ。私自身もこのことを信じていきたいです。これから頑張ってください。ありがとうございます。

卒業おめでとうございます。三年間皆さんと過ごしてきましたが、本当にあつという間でした。この学年は、本当に個性が豊かでひとりひとりが輝いており、挨拶など元気よくしてくれる気持ちの良い生徒ばかりだったと思います。皆さんは、大きな可能性を秘めています。頑張り次第でいくらかでも未来を変えることが出来ます。どうか夢を叶えるための努力を惜しまないでください。成長した皆さんと再開できる日を楽しみにしています。



機械科B組副担任  
黒川 潤也 先生

第六十八回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。瓊浦高校で過ごした学校生活はどうでしたか? 最高の思い出になりましたか?

皆さんは卒業後進学、就職と別々の道を進みますが、社会人として世の中に羽ばたいていきます。楽しい事より辛い事の方が沢山あると思いますが、どんな時も笑顔忘れずに頑張ってください。皆さんの笑顔は相手だけではなく、自分自身もしっかりと支えてくれるはずですよ。皆さんのご活躍を心よりお祈りしています。



機械科B組副担任  
荒木 康正 先生

何度でも、何度でも、達成するまで挑戦しよう。失敗しても良い結果を出してみようという前向きに「Try Again!」と勇気を持って欲しい。ずっと遠くにあるものが夢ならば、達成出来るかもとゴールが見えると目標が変わります。私も今さらながら夢が目標に変わった生活になりました。それまでの過程で大事なものは自己犠牲という考えです。人間は自分の「得」にならないことをやらなければ成長出来ないと思う。でも考え次第で、自分の「徳」になるかもと考えれば必ずと行動も変わるはずですよ。まだまだ十代、だから失敗したって良いから、何度でも『Keep on trying!』『Keep on dreaming!』



機械科C組副担任  
森高 康信 先生

自分の可能性を信じよう! 卒業おめでとうございます。瓊浦高校での三年間で自分自身にどのような色づけができましたか。今から先、皆さんの失敗も経験すると思います。常に向上心を持ち、諦めることなく頑張ってください。しっかりと力強い自分自身を作ってください。夢と希望で一杯の君たちなら、絶対に社会で活躍できます。君たちの持つ無限の可能性に期待します。



機械科C組副担任  
有久 昌志 先生

今年度、皆さんと出会い過ごした毎日を振り返ると楽しかった思い出が多く思い出さね、感謝しています。私が恩師に言われ好き言葉があるのでそれを伝えます。『辛い』



機械科D組副担任  
本田 喬士 先生

第六十八回生の皆さん。卒業おめでとうございます。皆さんとは三年間共に学年をあげてきました。入学時はまだまだ幼さが残っていましたが、今では立派な大人の顔になりました。この瓊浦高校で成長したのだと嬉しく感じています。



機械科D組副担任  
満田 勝也 先生

三年間を振り返れば体育祭や瓊浦祭、修学旅行など、皆さんと一緒に(もしかしたらみんな以上に)楽しんできました。私にとっても一生忘れることのない思い出です。これからはそれぞれの新しい道へと進みますが、瓊浦高校で学んだことを忘れずに精一杯頑張ってください。皆さんの活躍を願っています。

卒業おめでとうございます。皆さんと共に過ごした一年間は、私にとっても特別な時間となりました。これから皆さんはそれぞれ別々の道を歩んでいきますが、瓊浦高校で学んだ三年間を忘れず、頑張ってください。卒業はゴールであると同時にスタートです。これから先、辛いこと、苦しいこともあると思いますが、その先に仕事に対してのやりがいや楽しいことが待っています。辛いことからすぐに逃げずに頑張ってみてください。一年間ありがとうございました。



卒業を迎えるにあたって、当新聞部では、幾人かの卒業生にインタビューを行った。テーマは「夢」。瓊浦高校での三年間を振り返ってもらおうと同時に、それぞれの卒業生たちの卒業後の夢を語ってもらった。

まずはそれぞれの部活動で活躍した生徒たち。空手道部主将の山口将吾くん、ハンドボール部主将の林田大史くん、バドミントン部主将の原口翔多くん(いづれも龍普3A)の三人に話を伺った。

# 未来

まずは卒業おめでとうございます。高校生活を振り返ってみて、どんなことが印象に残っていますか。

**山口** やっぱ最後の高総体です。上手く言葉では言えないけど、今までの試合とは「想い」の強さが違いました。特に団体戦で負けてしまい、皆の「想い」を受けて個人戦で勝ったことはすごく印象に残っています。

**林田** 僕も同じで県の高総体です。三年ぶりに長崎日大に勝ち、末岡先生を胴上げできたのが一番の思い出です。

**山口** 決勝戦、結構危なかったよね。林田 新人戦、春季戦と勝ってきた相手なのでもっと楽に勝たなくちゃいけなかったんですけど、結局接戦になってしまいました。特に、直前の試合で女子が負けていたの、絶対に勝たなくちゃという重圧の中勝てたんで本当に良かったです。

**原口** やっぱ、このメンバーだとみんな同じ答えになっちゃってしまいうけど、僕も高総体、特にインターハイが印象に残っています。三十八年ぶりに団体でベスト4になれたことはもちろんですが、何より仲間たち全員で戦ったという思いが強いですね。

「仲間」というワードが出ましたが、みなさんは主将という立場で、他の人以上に苦勞した部分があったと思うんですが、その点はどうですか。

**山口** メンバー入りできなかった仲間へのフォローというの、結構気をつかいました。どうしてもやる気がなくなると、雰囲気悪くしてしまうことがあったので、できる限りそうならならぬという気を配りました。

**林田** あとは、やっぱり試合中の声かけですね。さっきの将吾の話じゃないけど、雰囲気次第で全く試合展開が変わってくるので、なるべくチームの士気を下げないように、周囲に目を配り、気を配ることを学びました。

**原口** うちは、後輩たちがめっちゃ強いんで(笑)。主将として、負けるわけにはいかないというところか、負けたくないという気持ちは常にありました。そういう気持ちで三年生みんなが持つ練習に臨んだこともあって、良い結果に繋がったんじゃないかなあと思っています。

今年特に運動部の活躍が顕著でしたが、他の部活動の活躍はやはり気になりましたか。

**山口** クラスメイトに全国レベルが何人もいる、というのはやはり刺激になりました。違う競技なので、直接ライバルというわけではないんですが、負けたくないという気持ちは少なからず持っていました。

**原口** お互い重要な試合前には、「頑張れよ!!」って声を掛けたりとか。

林田 やっぱ結果は気になりますね。選抜(春の全国選抜大会)を決めた時とかは、誰が最初に決めたとかが話題になったり。

**山口** 自分たちももっと頑張らないとっていう気持ちにさせられました。

ここにいるメンバーそれぞれの印象は。

**山口** 大史は、身長以外は完璧(笑) 原口 確かに。成績もいいし、ハンドも凄いいし。

**林田** 原口は、普段は抜けてるけど、バドミントンモードの時は、めっちゃ格好いい。

**山口** 自分を追い込むストイックさが凄いなと思う。

**林田** 将吾は、スイッチが入った時の集中が凄いな。

**原口** 普段のふざけてる時とのギャップが凄いな。オンオフの切り換えっていうか。

瓊浦高校で三年間過ごしてどうでしたか。

**林田** 部活動と勉強の両立はすごく大変だった。だから充実した三年間だったと思う。

**原口** 自分は二年からだけど、本当にあつという間だった。

**山口** 自分は逆で、濃い時間だった。特にこの一年はいろんなことがあつて、とても長く感じた。

**原口** 将吾は、体育祭とか瓊浦祭とか全部一生懸命やったから。山口 部活引退してから、むしろ忙しかったから(笑)

**林田** まあ、とにかく瓊浦で三年間過ごせて良かった。

最後に、今後の夢と後輩たちに向けたメッセージをお願いします。

**原口** 自分は大学でバドミントンをやるけど、強い同級生がたくさんいて今以上に練習とか大変になると思います。一日も早くライバルたちを追い越して、大学の目標であるインカレの優勝に貢献できるように頑張りたいです。後輩たちには、ぜひ未だ果たせていない日本一という目標を達成して欲しいと思います。

**林田** 一年から試合に出て、チームに貢献できるような存在になりたいです。後輩たちには、日本一になって欲しい。そして、瓊浦の名前をもっと全国に広めて欲しいと思います。

**山口** 高校時代に果たせなかった全国大会での入賞をまずは果たしたい。後輩たちには、部活のことばっか言ってもあれなんで、体育祭や瓊浦祭などの学校行事で「瓊浦らしさ」をもっともって出していつてもらいたい。



ありがとうございました。三人が、大学でも更なる活躍をしてくれることを期待しています。

# 僕らの夢



## 「夢は看護師」

普通科D組 乙藤 広大

私は幼い頃から、自分の病気のせいもあって病院に通う機会が多く、そこで働く看護師さんとおふれ合う機会も多くありました。その当時は、別に絶対に看護師になるんだという明確な目標を持っていただけではなく、診察や検査の補助だけでなく、患者さんの精神的なケアも行っている看護師さんたちの姿にただ憧れを抱いている程度でした。

高校に進学すると、病気や怪我のこともあり学校を休むことが多くなりました。同時に、そのことに甘え、怠けてしまっている部分もありました。そうしたことが積み重なって、一年生の頃はかなりの欠席をしてしまいました。今思えば、本当に無駄な時間を過ごしてしまったと後悔しています。二年生になっても、なかなか生活のリズムを改善することができず、遅刻・欠席を繰り返しました。本気が足りなかった、どこかで甘く考えていた

結果だと反省しています。

そんな私に転機が訪れました。進路について担任の先生と面談を行ったこと。そこから全てが動き出し、真剣に自分の将来を考えたとき、幼いことから憧れだった看護師という仕事、まず第一に思い

浮かびました。けれども、看護師になるためには、大学か専門学校に進学する必要があります。学校を休んでばかりの私では、学力的にとっても厳しく、どうせ無理だと諦めようと思いました。そんな時、担任の先生が、「お前ならやればできる。やれるだけやってみろ」と言ってくれ、頑張ってみようという気持ちになりました。



こうしてやる気は出たものの、中学校から高校とまともに勉強をして

いない私には、課題が山積みでした。まあ怠けていた自分が悪いので自業自得と言ってしまうまでもありますが、本当に怠けていたつけが回ってきてしまい、挫折するようになったこともあり、ただ一度決めた「看護師になる」という夢は捨てたくなかったため、毎日、平日は放課後図書室に残り、一から勉強しました。休日は学校だけでなく図書館に通い、少しでも後れを取り戻そうと努力を重ねました。けれども、十月に行われた推薦入試では不合格でした。やはり無理なのかと一瞬あきらめが頭をよぎりましたが、最後まで頑張ってみようという強い気持ちで勉強を続けました。その結果、一般入試で自分が志望する専門学校に合格することができました。一年の頃から真面目にやっていたら、少しは楽だったのかなと思います。

私は将来、患者さんの立場になって物事を考えられる看護師になりたいと思います。自分自身が体験して思うのは、病気や怪我というのは、ただ身体的苦痛があるというだけではありません。精神的な苦痛も大きな問題です。病気や怪我によって気持ちが塞ぎがちになり、生活にも影響を与えることが多いと思います。最近では医療の高度化が進み、病気の治療という点では、間違いなく早く、ミスもなくなっています。けれども、治療が済んだら終わりではなく、以降のコミュニケーションの取り方次第で、精神的な不調を取り除くことができると思います。ケア「治療」とケア「看護・介護」。このどちらかが欠けたら医療は成り立たないと考えます。質の高い心・身のケアを行うためにも、患者さんの立場に

立って物事を考えられる看護師になりたいと思います。

看護学校への進学はゴールではなくスタートです。これから大変なことが数多くあると思いますが、自分の夢を見失うことなく、理想の看護師像を追い求めていきたいと思っています。



## 「海外で働きたい!!」

龍馬コース普通科A組 西村 詩織

私は将来、国際的に活躍できる人間になりたいと思っています。具体的に何になりたいというのには、まだ決まっていませんが、大学生活の中で視野を広げ、新たなことに数多く挑戦する中で、具体的な目標を定めていきたいと考えています。

私は、夢の第一歩として山口大学の経済学部を選択しました。経済学部の主である経済について学ぶことはもちろん、国際的な視野を広げるた

めの海外留学にも挑戦するなどして、学生時代のうちにより多くの経験を積みたいと思います。

私ができるように考えるに至ったのは、瓊浦高校での三年間があります。「経験は力」。人から聞いた話よりも、自分が見て、聞いて、行動したこと、は、何よりも身につくと思います。私は高校時代に、数多くの貴重な経験をすることが出来ました。龍馬コースで大学受験に向けた学習を行う傍ら、所属する卓球部でも県大会優勝に向けて練習に励みました。その結果、学習面では国立大学に合格、部活面では全国大会出場というどちらも素晴らしい成果を残すことができました。勉強と部活、どちらか片方だけに集中していたら、今の私は無かったと思います。どちらも手を抜かず、途中で諦めなかったことで、自分自身の成長に繋がったと思っています。そういった意味では、他の人より貴重な経験ができたと思っています。

そして、そうした経験を支えてくれたのは先生方であり、両親であり、友人たちです。自分一人では、途中で挫折してしまったに違いありません。皆の支えがあつて、充実した高校生活を送ることができたのだと、関わってくれた全ての人たちに感謝しています。こうした感謝の気持ちを忘れず、大学でも夢の実現に向け頑張っていきたいと思っています。



# おめでとう!!

## 表彰者一覽

### 瓊浦学園賞

龍馬コース普通科A組 柳澤 美月

### 校長賞

龍馬コース普通科A組 林田 大史  
情報ビジネス科A組 中田 真帆  
龍馬コース機械科A組 池松潤一郎

### 私学賞

龍馬コース普通科B組 御厨 茜

### 県教育委員会表彰

龍馬コース普通科A組 松田 京子

### 産業教育振興中央会賞

情報ビジネス科A組 出口 真帆  
龍馬コース機械科A組 青田 岳紀

### 産業教育成績優秀者表彰

情報ビジネス科A組 池田 美久

### 県高体連表彰

男子バドミントン部

### 県高体連卒業生顕彰

龍馬コース普通科B組 江崎ちひろ

### 県高文連卒業生顕彰

普通科D組 井上 拓也

### 全国高校生新聞表彰

普通科C組 下野 大雅

### 特別奨励賞

機械科C組 山下 拓真  
機械科D組 沖村 倅太

### 特別功労賞

【団体の部】  
男子バドミントン部

3年龍馬コース普通科A組 原口 翔多  
3年龍馬コース機械科A組 長野 恭大  
2年龍馬コース普通科B組 芦塚貴一郎  
2年普通科C組 松林 雄太  
1年龍馬コース機械科A組 辻 凌也  
1年普通科C組 村本 竜馬  
1年普通科C組 滝口 友士  
3年龍馬コース普通科A組 山田 麟

男子ハンドボール部  
3年龍馬コース普通科A組 林田 大史  
小武 蒼太  
野田 惇  
末岡 拓美

### 3年龍馬コース普通科B組

川添 堅斗

行竹 智弥

3年普通科C組 山口 由輝

3年龍馬コース普通科B組 中島 功輝

2年龍馬コース普通科B組 太田黒翔馬

尾崎 聖

3年情報ビジネス科A組 杉本 翼

山口 真奈

溝田 真南

橋浦 茜

### 体育文化功労賞

#### 【団体の部】

男子バドミントン部

2年龍馬コース普通科B組 西田祐一朗

眞方 佑介

鶴田 世那

機械科C組 小川勇武貴

3年龍馬コース機械科A組 川口 健太

3年機械科B組 一瀬 祥司

3年機械科C組 崎村 凌

3年機械科D組 白石光太郎

2年龍馬コース普通科B組 田代 健流

小林 亮

2年普通科C組 芳野 航平

2年機械科B組 戸村啓太郎

2年機械科D組 山口 勝

1年普通科C組 山下 龍登

1年普通科C組 林 聖也

阿部 謙友

酒井 唯人

藤田 悠仁

山口 太陽

1年情報ビジネス科A組 田中 侑人

3年龍馬コース普通科A組 田中 佳睿

3年情報ビジネス科A組 北原 明達

3年龍馬コース普通科A組 池松潤一郎

### 3年龍馬コース普通科A組

松尾 晴美

龍馬コース普通科B組 川添 堅斗

普通科C組 竹村 祐一

陸門 祥明

島添果奈美

下見 英慈

高嶋 弘明

松尾 史玖

後田 悠

田添 智早

青田 岳紀

緒方 樹

小川勇武貴

小島 龍星

定方 志門

並川 紘汰

中山 沙綾

山口 龍星

山口 大輝

出口 佑貴

松本 直樹

浦本 大輝

高木 優輝

田中 翔太

中ノ瀬聡汰

西島 武

### 資格取得優良者

#### 全国商業高等学校長協会

4種目1級 池田 美久・出口 真帆

情報ビジネス科A組 中田 真帆・山口 真奈

3種目1級 後田 悠・杉本 翼

情報ビジネス科A組 山田侑羽里

#### 全国工業高等学校校長協会

##### 「ジュニアマイスター」

ゴールド 龍馬コース機械科A組 青田 岳紀

シルバー 龍馬コース機械科A組 森 潤樹

龍馬コース機械科A組 宮野 叶也・村里 優香

龍馬コース機械科A組 山口 沙綾

機械科B組 坂口 響

#### 長崎県商業教育研究会

##### 「ビジネスマイスター長崎」

ゴールド 池田 美久

シルバー 情報ビジネス科A組 後田 悠・出口 真帆

情報ビジネス科A組 中田 真帆・山口 真奈

ブロンズ 情報ビジネス科A組 山田侑羽里

入江 陽也・経塚 幸生

竹谷 凌真・石松 雅子

山上麻穂佳・田添 智早

榑山 葵生・西 千鶴

島中 真・溝田 千南

# いざ、世界へ!!

去る二月五日、陸上マラソン競技の世界選手権代表選考会の一つである別府大分毎日マラソンにおいて、本校卒業生であるMHPsの木滑良選手(平成二十一年卒業)が、見事三位入賞を果たした。昨年八月に行われた北海道マラソンで優勝した勢いそのままに、自己記録更新を果たし、世界選手権の代表に名乗りを上げた。



来月には結婚式を控える木滑選手。公私ともに万全の状態で、二〇二〇年東京オリンピックに向け、さらなる飛躍を期待している。

### 平成29年度1学期 行事予定

4月 8日	始業式・新任教員入学式・対面式
10日	交通講話
11日	勤労体験学習③
12日	内科検診 宿泊研修①
17日	身体測定 避難訓練
18日	第1回実力考査
19日	部活動紹介
20日	面談週間(〜25日)
21日	部活動編成 歓迎遠足
5月 1日	振替休日(入学式)
2日	振替休日
14日	PTA総会(PTA総会)
16日	中間考査(〜16日)
22日	薬物講話
23日	振替休日(高総体)
6月 1日	高総体推戴式
2日	県高総体開会式
3日	県高総体(〜5日)
7日	振替休日(高総体)
12日	第2回実力考査③
14日	企業訪問報告会
19日	三者面談③(〜15日)
25日	創立記念週間
27日	創立記念日
30日	期末考査(〜30日)
7月 8日	第1回学校見学会
11日	生徒総会
15日	夏季学習合宿
18日	競技大会
19日	終業式